

事務局資料①

令和7年4月18日

- 「経済財政運営と改革の基本方針2024」(骨太方針2024)において、2025～2030年度の6年間を対象とした、中期的な経済財政政策の枠組みである「経済・財政新生計画」が定められ、「本年末までにEBPMの強化策及び経済・財政一体改革の工程を具体化するとともに、毎年改革の進捗管理・点検・評価を実施する」とされたことを受け、経済・財政一体改革推進委員会及び各WGにおける議論を経て、令和6年12月に「EBPMアクションプラン2024」及び「経済・財政新生計画 改革実行プログラム2024」を策定。
- これらを用いながら、これまでの改革の進捗状況を点検・評価の上、施策の見直しやKPIの見直しに向けた議論を行うため、「進捗管理・点検・評価表」(仮称)を作成し、経済・財政一体改革の取組の進捗管理を行う。

「EBPMアクションプラン2024」

- 効率的な医療・介護サービス、**質の高い公教育の再生、研究・イノベーション力の向上**、広域のまちづくり、半導体・GX投資等、10の分野の多年度にわたる重要政策及び計画を対象にエビデンスに基づく政策立案を行うため、①政策体系(ロジックモデル)、②検証事項、③分析・検証方法等、④体制、⑤分析・検証やデータ整備におけるロードマップ、⑥政策見直しへの活用方法を明確化。
- ロジックモデルやKPIの設定、データ収集、事後的な検証によるプロセス管理を進め、次年度の骨太方針策定前に進捗状況を経済財政諮問会議に報告。
- EBPMの取組成果や定量的に把握された政策効果については、骨太方針策定などを通じて翌年度以降の予算編成過程において反映。

「経済財政新生計画 改革実行プログラム2024」

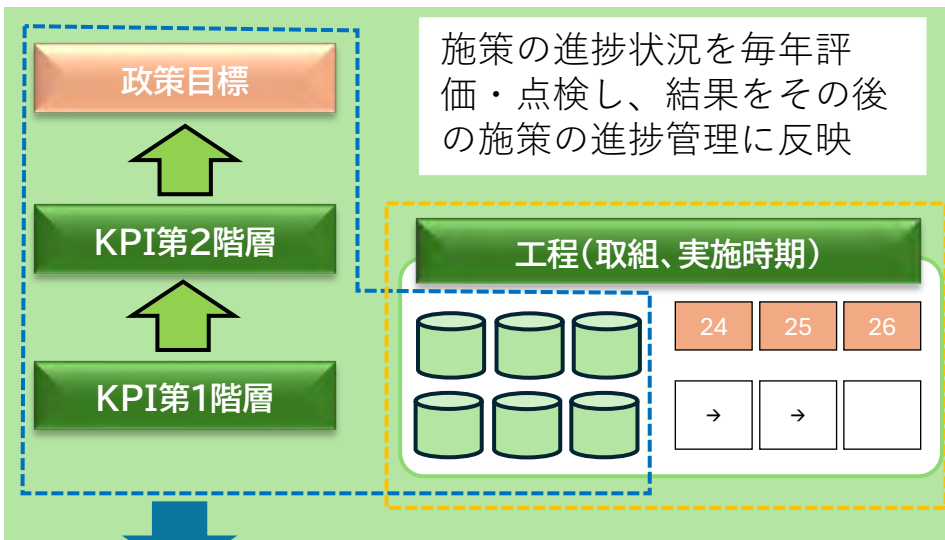
- 骨太方針2024に掲げられた改革項目の着実な推進に向けて、①社会保障、②文教・科学技術、③社会資本整備、④地方行財政について、今後3年間(2025年度～2027年度)を中心に、「何を」「いつまでに」「どのように」進めるか、改革のロードマップを具体化。
- 文教・科学技術分野においては、**初等中等教育、高等教育、科学技術**の3分野に関する改革項目についてロードマップを策定。
 - ・ 喫緊の課題である教師を取り巻く環境整備について文部科学省・教育委員会等が連携して一体的に推進するとともに、GIGAスクール構想の下での学びの効果や端末の活用状況の検証を経ながら教育データの利活用促進を含め教育DXを加速
 - ・ 少子化の急速な進行を見据えた今後の高等教育の在り方について早期に結論を得て、機能強化に向けた取組を講じる
 - ・ 研究の質や生産性向上に向けた仕組みを構築し、世界最高水準の研究大学の実現や地域の地域の中核大学等の機能強化を着実に進める

※EBPM: Evidence-Based Policy Making。政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠(エビデンス)に基づくものとする。

「進捗管理・点検・評価表(仮称)」の全体像

従来の改革工程表

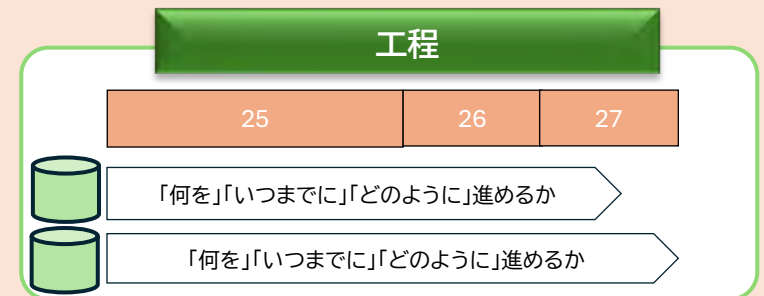
対象:教育(初・高)、科技、スポーツ、文化



改革実行プログラム

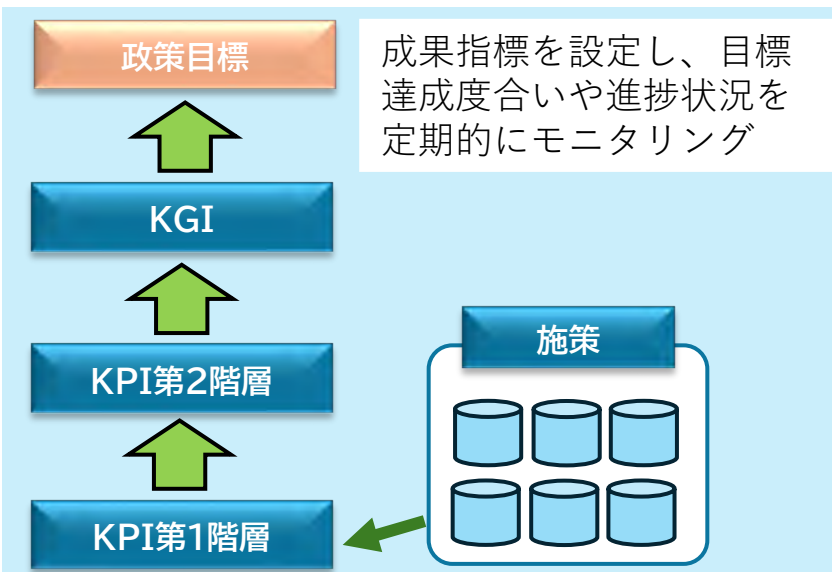
対象:教育(初・高)、科技

骨太方針2024に掲げられた改革項目の着実な推進に向けて、今後3年間のロードマップを具体化



進捗管理・点検・評価表

対象:教育(初・高)、科技、スポーツ、文化



EBPMアクションプラン

対象:教育(初)、科技

